

令和元年11月22日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

滝沢市議会議員 菅野 福雄 印

政務活動（調査研究・~~研修~~・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・~~研修~~・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和元年11月12日（火） から 令和元年11月13日（水） まで

2 活動場所

① 山形県 川西町役場

3 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体:無所属 菅野福雄

調査項目名称	調査研究(視察含む)・研修・要請陳情等
活動の理由及びその目的	滝沢市における高齢者の免許返納等における市民の足としての交通手段はどうあるべきかを検討するためにその先駆者である山形県川西町のデマンド交通体系を、調査研究を行うものである。
活動概要	●実施日 平成元年11月12日(火)～平成元年11月13日(水) ●場所 (1)山形県川西町(11月13日(水)) ●内容 (1)視察のテーマ デマンド交通について
活動成果	●特記事項 (1)山形県川西町 川西町は置賜地方のほぼ中央に位置し、面積は166.60K ² で滝沢市より少し狭い地域に人口約15,000人、65歳以上人口約5,500人で高齢化率約37%、世帯数約5,000世帯、地区は7地区あり、近くには有名な「川西ダリヤ園」がある風光明媚な田園風景の広がる町であった。 平成8年から町民バスを運営していたが財政として支えきれなくなり、そこで考案されたのがデマンド交通の導入であった。町民からのアンケート調査から、「戸口」から「戸口」まで移動できる交通システムを多くの住民が望んでいることが確認され、まちづくりの視点からタクシー事業者3社と町民の理解と協力を得て導入されたものであり、財政負担の軽減を目標にした取り組みが先進的であった。 ●所感等 ボランティア輸送実証実験、住民説明会、会員登録、無料有料運行期間の設定、山間部運転実験等を経て利用料金一回当たり500円の定額制を採用し、運行形態は「乗り合い」で「自宅から目的地」「目的地から自宅」、運行は毎日、時間は午前7時30分から午後5時までとしている。運行便は所定の時刻を決め1日9便の運行を実施していることの説明を受けた。 その結果、川西町は民間のバス会社から町民バスになったが財政が支えきれず、デマンド型乗り合い交通に移行した先進的な取り組み事例を学ぶことができた。本市の課題解決を見据えた具体的な提案に向けて大変参考となった。

視察日程表

(令和元年 11 月 12 日～令和元年 11 月 13 日)

年月日	時刻	行程
【移動日】 令和元年 11 月 12 日 (火)	13 : 30 13 : 50～14 : 29 14 : 44～15 : 10 15 : 35～16 : 09	盛岡駅集合 (南口待合室) 盛岡駅⇒仙台駅 (JR 新幹線はやぶさ 20 号) 仙台駅⇒福島駅 (JR 新幹線やまびこ 144 号) 福島駅⇒米沢駅 (JR 新幹線つばさ 141 号) 【宿泊】 「ベストウェスタン THE JAPONAIS 米沢」 (米沢市下花沢 2-5-22)
令和元年 11 月 13 日 (水)	9 : 15～ 9 : 45 10 : 00～11 : 30 13 : 30～14 : 00 14 : 38～15 : 14 15 : 38～16 : 04 16 : 19～16 : 58	ホテル⇒川西町役場 (タクシー) 視察 山形県 川西町役場 <u>「デマンド型交通について」</u> 【昼食】 川西町内⇒米沢駅 (タクシー) 米沢駅⇒福島駅 (JR 新幹線つばさ 144 号) 福島駅⇒仙台駅 (JR 新幹線やまびこ 141 号) 仙台駅⇒盛岡駅 (JR 新幹線はやぶさ 59 号)

令和2年2月19日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

滝沢市議会議員 菅野 福雄

政務活動（~~調査研究・研修・要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和2年2月10日（月） から 令和2年2月11日（火） まで

2 活動場所

東京都墨田区横網1丁目6番1号 KFCホール2nd

3 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体:無所属 菅野福雄

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ 研修 ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	滝沢市議会議員としての研鑽を積むため、調査研究を行うものである。
研修概要	<ul style="list-style-type: none">●実施日 令和2年2月10日(月)～令和2年2月11日(火) ●場所 (1)東京都墨田区(2月10日(月)～2月11日(火)) ●内容 自治政策特別講座 (1)2020年度の地方財政、傾向と審議のポイント(宮崎雅人) (2)地域の暮らしを支える行財政システムー地方債・積立金の活かし方(武田公子) (3)長生きできる町をつくろうー健康格差社会縮小をめざして(近藤克則) (4)地域づくりと地方財政ー実践から学ぶ活性化のヒント(沼尾波子)
活動成果	<ul style="list-style-type: none">●特記事項 (1)宮崎 雅人 埼玉大学大学院教授 地方財政の仕組みと2020年度地方財政の傾向や問題点から、議会で審議すべきポイントが説明された。二元代表制の下で議員のできることは限られていると言われることが多いが、ミクロレベルで見ると、行政府に対してかなりの牽制役になっているケースもあると説明された。(2)武田 公子 金沢大学教授 地域創生が本当に地域のためになるには、自治体議会での議論次第である。過度な経費削減と積立金増加など歪んだ実態をただし、地方債を賢く使うこれからの財政運営について説明された。(3)近藤 克則 千葉大学教授 「町の環境」が住民の寿命を決める。調査で明らかになる健康格差とその原因と、本人の努力だけではなく環境にも左右される健康格差をなくし、社会環境を整えることの重要性の理解を深め、町づくりの基礎を考える必要があると説明された。(4)沼尾 波子 東洋大学教授 地域のつながりを支える公共プラットフォーム構築と自治体の役割や各地の事例を手がかりに、地域づくりのヒントと住民の生活を守りながらつなげていく行財政運営について説明された。 このように先進的な取り組み事例を学ぶことができた。 本市の課題解決を見据えた具体的な提案に向けて大変参考となった。

研 修 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和2年2月10日 (月)	8 : 30	盛岡駅集合 (南口待合室)
	8 : 50～11 : 04 11 : 13～11 : 17 11 : 22～11 : 25	盛岡駅⇒東京駅 (JR 新幹線はやぶさ 10号) 東京駅⇒秋葉原駅 (JR 山手線) 秋葉原駅⇒両国駅 (JR 中央・総武線)
	13 : 00～16 : 40	<p style="text-align: center;">【昼食】</p> <p style="text-align: center;">【研修】 K F Cホール 2nd (墨田区横網一丁目 6-1) 「2020年度の予算審議 一まちづくりと自治体議会」(1日目)</p> <p style="text-align: center;">【宿泊】 「パールホテル両国」 (墨田区横網一丁目 2-24)</p>
令和2年2月11日 (火)	10 : 00～14 : 40	<p style="text-align: center;">【研修】 K F Cホール 2nd (墨田区横網一丁目 6-1) 「2020年度の予算審議 一まちづくりと自治体議会」(2日目)</p>
	16 : 20～18 : 33	<p>両国駅⇒秋葉原駅 (JR 中央・総武線)</p> <p>秋葉原駅⇒東京駅 (JR 山手線)</p> <p>東京駅⇒盛岡駅 (JR 新幹線はやぶさ 31号)</p>

令和2年3月31日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

滝沢市議会議員 菅野 福雄

政務活動（調査研究・~~研修~~・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和2年3月24日（火） から 令和2年3月25日（水） まで

2 活動場所

- ①陸前高田市東日本大震災津波伝承館
- ②陸前高田市役所市長室
- ③陸前高田市小友町カキ養殖場他
- ④釜石市鶴住居ラグビー場

3 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体:菅野福雄

調査項目名称	調査研究(視察含む)・研修・要請陳情等
活動の理由 及び その目的	<p>陸前高田市は東日本大震災で甚大な被害を受け今その復興途中であるが次の災害にも備えようと10メートルほどのかさ上げと12.5メートルの防潮堤等を建設中である。近年は津波だけではなく洪水による河川の氾濫や地震等が日本列島どこでも起こりえる。</p> <p>当市としても災害に備えなければならないため、調査研究を行うものである。</p>
活動概要	<ul style="list-style-type: none">●実施日 令和2年3月24日(火)～令和2年3月25日(水) ●場所 (1)岩手県陸前高田市東日本大震災津波伝承間(3月24日(火)) (2)岩手県陸前高田市アムウェイハウス他復興施設(3月25日(水)) (3)岩手県釜石市鶴住居ラグビー競技場(3月25日(水))●内容 (1)視察のテーマ 災害がどのように発生したかについて (2)視察のテーマ 復興の過程について (3)視察のテーマ復興施設の現況について
活動成果	<p>(1)津波が発生し、森林や家屋が破壊されていく様子を映像で見たが、津波の破壊力は凄まじく町全体が壊滅状態になった。1,800人ほどの犠牲者が出た。高台やビルの屋上に逃げ助かった人はそのままそこで一夜を過ごした者もいた。避難所に人が溢れ、不自由な生活になり、我慢して生き延びようとしている人間の生活がそこにあった。自然災害はいつどこで発生するかわからない。私たちは常時災害に備えなければならないと思う。</p> <p>(2)陸前高田市市議会議員及川修一氏の講演:東日本大震災からの復興の取り組み状況についてに研修を受けた。大災害であったが今はその復興途中である。いろいろなところから支援をいただいている今がある。復興に向けた市の予算規模は震災前は一般会計約110億から31年度予算は約730億円であり約6.5倍となっている。多いときは1,000億円を超えていた。これからもいくつかの施設の建設計画があり、50,000人収容規模の音楽堂もその候補になっている。市としては全く新しい町が誕生することになる。</p> <p>(3)完成した建物や建設中の建物がそここちに見られるが空き地が大半を占める。新しい町の誕生を目指しているがこの空き地に人々が戻ってくるのだろうか。また箱物を作っているので交付金などが少なくなったときに維持管理費はどのように工面するだろうか。市長にもお目にかかりその意気込みもお聞きしたが、まだまだこれからも国はじめ皆様の協力が必要であると思った。このように震災で破壊され大半の街がなくなってしまった陸前高田を視察して街の壊滅から復興までの遠大な計画から大局観を得たのではないかなと思う。</p> <p>本市の自然災害が発生した場合における課題解決の具体的な提案に向けて大変参考となった。</p>

視 察 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和2年3月24日 (火)	10 : 00	滝沢市役所集合
	10 : 00～12 : 00	滝沢市役所⇒陸前高田市 (レンタカー・自家用車)
		【昼食】
	13 : 00～15 : 00	津波伝承館視察
	15 : 30～16 : 00	市長訪問 (陸前高田市役所)
	17 : 30	【宿泊】 「大船渡温泉」 (大船渡市大船渡町丸森 29-1)
令和2年3月25日 (水)	8 : 00	宿出発
	8 : 30～10 : 00	広田湾漁協視察
	10 : 00～11 : 30	陸前高田市内復興状況視察
	11 : 30～13 : 30	陸前高田市⇒釜石市 【昼食休憩含む】
	13 : 30～14 : 30	釜石市鶴住居復興スタジアム視察
	14 : 30～16 : 30	釜石市⇒滝沢市役所 (レンタカー・自家用車)